

「2012年度 日本人のしあわせと健康調査」にご協力いただいた方へ

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野では、「2012年度 日本人のしあわせと健康調査」を実施しています。

【研究課題】

審査番号：3836-(1)

課題名：2012年度 日本人のしあわせと健康調査

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関 東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野

研究責任者 教授 川上 憲人

担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

東京女子大学現代教養学部

唐澤真弓 教授

ミシガン大学心理学部

北山 忍 教授

ウィスコンシン大学マディソン校心理学部

Carol Ryff 教授

スタンフォード大学心理学部

Hazel Rose Markus 教授

国立精神神経医療研究センター

菅知絵美 流動研究員

担当業務 データ解析

【研究期間】

2012年07月04日 ～ 2017年07月03日

【対象となる方】

2008年に東京都21区内に居住し第1回の質問紙調査に回答し、研究報告書の送付を希望し配布している対象者（30歳以上、85歳以下）の男女。

【研究の意義】

中高年において社会心理的なストレスが心身の健康に与える影響は大きいと推測されるが、その影響やパターンは文化によっても異なると推測される。米国では、中高年のストレスと健康に関する調査(Midlife in the United States II (以下、MIDUS-II))を実施中である。MIDUSは、アメリカにおけるSuccessful Midlife Development (MIDMAC)のジョン・D・アンド・キャサリン・マッカーサー財団によって実施され、全米48州に在住する英語での会話が可能である25から74歳を対象に1994年から現在も続けられている大規模調査である。本調査はMIDUSに対応して日本で実施された研究プロジェクト(Midlife in Japan (以下、MIDJA))で、MIDUS-IIと対応することによって、日本人のストレスや幸せと健康との関係を調べ、これをアメリカと比較することで日本人の幸せのあり方や健康について明らかにすることは意義がある。

【研究の目的】

この研究では、MIDUS-IIと比較可能な質問紙調査と生理検査を日本人の中高年を対象に実施した「中高年の健康とストレスについての日米比較研究：質問紙調査および生理検査」(審査番号1691、平成19年5月28日東京大学大学院医学系研究科・医学部倫理委員会承認(資料10))の追跡調査である。前回の調査へ参加した研究協力者に対して新たに調査への参加を依頼し、対象者の質問票のデータを追加した上で、前回の質問票およびバイオマーカー(コルチゾール、フェブリノーゲン、インターロイキン6、C反応性蛋白など)のデータとマージして解析することで、中高年の健康とストレスの因果関係を日米で比較検討する。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。

調査方法は、留め置き法となる。社団法人新情報センターに委託し、2008年に東京都21区内一般住民で第1回の調査に協力し、研究報告書の送付を希望し配布している中高年（30歳以上、85歳以下）、男女1013名を対象に調査協力依頼はがき（資料1）を送付する。その後、調査員が対象者を訪問して、調査協力依頼状（資料2）と調査説明書（資料3）によって研究に関して説明し、書面にて同意（資料4）を得た上で、所定の質問票（資料5）に回答してもらう。記入された質問票は後日、調査員が回収する。社団法人新情報センターで入力された質問票および電子データは、調査センター（東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野、以下同様）に移送、保管される。

【個人情報の保護】

・社団法人新情報センターでの調査実施

東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野で第1回調査とは異なる通し番号をふった作業用ID番号と、氏名、住所が書かれたリストの入ったCD-Rを新情報センターに渡し調査を依頼。新情報センターから、そのリストの住所と氏名を用いて対象者にはがきを送付。調査員が訪問するために1013名の対象者を住所の近いもので名寄せする。20名の対象者のリスト（対象者名簿）を51枚、紙媒体で作成。対象者名簿に基づいて、それぞれの担当調査員が、直接住所に赴く。同意の得られた対象者に作業用のID番号が振られた質問票を渡す。新情報センターは、回答書と調査票を別個に回収しそれらを分離した上で、作業用ID番号に基づいて調査票データを入力する。また、新情報センターは、調査員が訪問した日時、回数、調査の可否等の状況を記入したリストも作成する。調査票データとそのリストはCD-Rに保存される。そのCD-R、同意書と調査票本体、そして東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野から新情報センターに渡したCD-Rは、すべて東京大学大学院精神保健学分野に返却される。

・東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

医学部3号館N304号室にて第1回調査とは異なる通し番号（作業用ID番号）をつけ、連結可能匿名化を行う。質問票本体には作業用ID番号を記す。新情報センターから返却された調査票データは東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野医学部3号館N304号室にて連結可能匿名化の対応表を用いて、調査票データと第1回の調査票データとを照合し連結し、個人情報は一切含まれない解析用データセットを作成する。同意書と作業用ID番号、氏名、住所が書かれたリストの入ったCD-Rは、研究責任者である川上の責任のもと、鍵のかかる東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野医学部3号館N305号室で厳重に保管する。連結可能匿名化の対応表や個人同定可能情報の電子データは東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野医学部3号館S306号室のLANにつながっていないパスワードロックのかかるスタンドアロンのパソコンに保管する。解析用データセットはポータブルハードディスクに保管し、研究責任者である川上の管理の下、東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野医学部3号館N304号室の鍵のかかる保管庫に保管し、解析時のみPCに接続する。

・東京女子大学、ウィスコンシン大学、ミシガン大学、スタンフォード大学、国立精神神経医療研究センターでの解析

新情報センターから返却された調査票データを東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野にて第1回の調査票データと連結し、個人情報は一切含まれない解析用データセットを作成する。解析用データセットに個人情報は含まれない。解析用データセットは、ウィスコンシン大学にCD-R送られ、同大学のサーバー上に転送される。このサーバーを使用するためには、事前に研究者から使用申請が必要であり、使用許可で発行されたIDを持たなければならない。東京女子大学、ウィスコンシン大学、ミシガン大学、スタンフォード大学、国立精神神経医療研究センターの研究者は、データ使用許可のIDを取得したから解析用データセットのみを利用し解析を行う。解東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野医学部3号館N304号室以外の施設において個人が特定できるようなデータは渡さない。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局まで2017年5月29日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

【研究に関する費用、謝金等】

この研究に関する費用は、本研究経費は、アメリカ National Institute of Health の研究費 Midlife in Japan(研究代表者 Carol Ryff)より支出される。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。研究にご参加いただいた方へのお礼は商品券 3000 円です。

【問い合わせ先】

調査に関するお問い合わせは下記までお願い致します。

[調査事務局・調査責任者]

東京大学大学院 医学系研究科 精神保健学分野 川上 憲人

〒113-0033 東京都文京区本郷七丁目 3 番 1 号

TEL : 03-5841-3521 FAX : 03-5841-3392

メール : kawakami@m.u-tokyo.ac.jp

※お問い合わせの際には、「オプトアウト」の件でお伝えいただき、1 ページ目の研究課題名と審査番号をお知らせください。